

37 ^{かまくら}鎌倉アルプス 159m

神奈川県

吉田博至

かつて自然の要塞と云われた古都鎌倉は、南に相模湾、他三方を山に囲まれている。標高僅か150mほどの、樹木が鬱蒼と繁った岩質の地形は複雑で谷が深い。横浜の市民の森まで連なる山並は俗に鎌倉アルプスと呼ばれ、格好のハイキングコースが縦横にある。

ここではJR京浜東北線港南台駅からスタートし、いっしんどう広場、大丸山、関谷奥見晴台、天園、太平山を経てJR横須賀線北鎌倉駅へ下るコースを案内する。

港南台駅前の広い道路を左折すると5分程で環状3号線に突きあたる。そのT字路を渡って左折すると大きな港南台5丁目交差点にでる。そこを渡ると港南台消防出張所の手前から横浜栄高校へ通じる道がある。その道へ右折すると「円海山・大丸山マップ」案内板があり。ここが今回の登山口です。

左手へ折り返すようにフェンスに沿って尾根道を登ると、いっしんどう広場の手前の台地に出る。駅から約40分。公衆トイレもあり、展望が良いので一休みしよう。西に箱根・丹沢・富士山、北方の横浜湾の眺めは畑の畔道からが良い。東南にはこれから歩く瀬上市民の森、氷取沢市民の森、金沢市民の森、横浜自然観察の森が黒々と鎌倉へ連なる。殆ど民有地らしいが、起伏のある尾根道が鎌倉まで10km以上も続くのは素晴らしい。私はこの貴重な森全体を「湘南の黒い森」と名付けたい。

円海山(153m)の山頂は柵に囲まれて立入禁止のためパスする。いっしんどう広場から尾根道は南へ方向を変える。ここから関谷奥見晴台までは、案内板上の緑色表示のAビートルズトレイルを歩く。尾根道はすぐ杉林に入るが、やがて明るい自然林に変わる。右側の林間から富士山が時々見える。途中「エノキの板根」説明板のある大木に出会う。

しばらく進むと横浜市で最も高い大丸山(157m)への階段状の登り口がある。広々とした山頂からは金沢八景方面の海の眺望が良い。ベンチやテーブルがあり昼食の場所に良い。この先の関谷奥見晴台より展望が良い。この辺りから横浜自然観察の森に入り、「カシの森保護区」や「コナラの道」を通り、環状4号線のトンネル上の、横浜市と鎌倉市の境



になる市境広場にて。

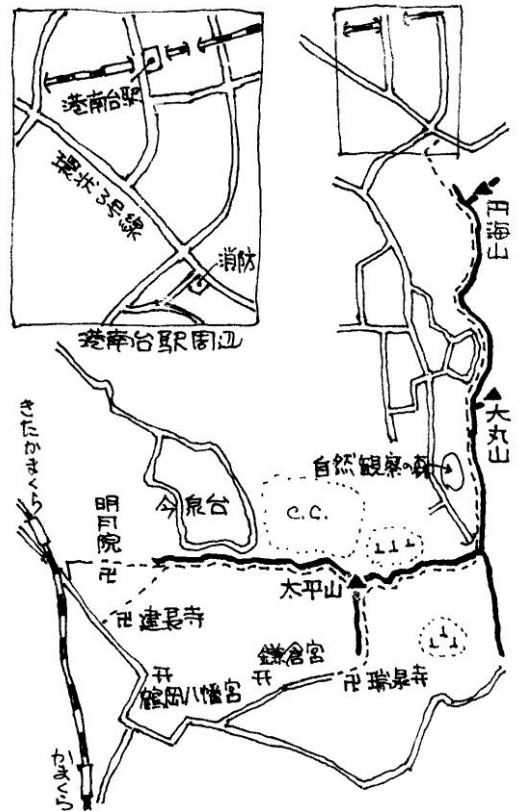
ここから尾根道は両市の市境を進み、切通しのような箇所を幾つか通る。天園の手前に鎌倉宮や瑞泉寺へ下る分岐があるが、天園峠の茶屋へ真っ直ぐ進む。茶屋には飲物やおでんなどがあり、鎌倉の街並と相模湾の眺望が素晴らしい。

天園から建長寺の方へ緩やかな坂道を下る。公衆トイレがあり、その先の広場に岩の堆積した所が太平山（159m）。横浜と鎌倉の市境だが、山頂は鎌倉側になるらしい。横浜ランドマークタワーの眺めが良い。

太平山を越して林の中の急坂を少し下る。この辺りから岩や崖が多くなり、深山の幽玄な趣がでてくる。見晴らしの良い十全岩を過ぎると勝上山にある建長寺の展望台に着く。鎌倉の若宮大路や相模湾の眺望が良いので一休みしよう。

ここから建長寺の半蔵坊へは下らず、尾根道にそって「明月院」の方へ進む。10分程で今泉台住宅地への下り口があるが、直進して笹竹の中の急な階段状の山道を登る。登り切って道なりに下ると民家の横にでて、山道は終る。ここから舗装道路を道なりに下ると、明月院の前を通過して北鎌倉駅へ出る。

当コースは春夏秋冬一年中歩ける。樹林帯を歩くので、木漏れ日の山道は真夏でも涼しい。春の新緑や桜、秋の紅葉は勿論のこと、真冬日の好日の富士もいい。よく整備された尾根道に舗装道はなく、全て自然の道であるのも嬉しい。



コースガイド 歩行時間 4時間弱

二万五千円：戸塚

問い合わせ先：横浜市の部分については、横浜市役所

環境創造局みどりアップ推進課が「円海山周辺マップ」を発行している。045-671-2624

最寄りの温泉：近くになし。